

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	特定非営利活動法人 WeAre 放課後等デイサービス MekiMeki		
○保護者評価実施期間	令和8年2月20日		令和8年3月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 7名
○従業者評価実施期間	令和8年3月1日		令和8年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年4月9日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	障害特性に捉われず、卒後の自立へと向けた充実した療育プログラムのご提案	毎月イベントカレンダーを作成。日々の活動に変化を持たせ、それぞれにねらいをもった活動を積極的にご提案。個での関わりはもちろんのこと、小集団中での学びについても特化し、他児との横の繋がり・関わりに重点を置いている。毎月外部講師を招くプログラム(アート活動・音楽療法・マッサージ)や、季節行事・食育・防災・健康・SDGs・社会参加(金種の理解・外出・外食)など多岐にわたる。こども会議を設け、こどもたちが主体になって話し合ったり物事を決めたりする機会を大切にしている。保護者様参加型として、法人全体として夏祭りを開催。	全員のお子様方が体験・経験ができるよう、プログラムの提案日の設定を考慮していく。感染症の兼ね合いや職員配置等の事由により、外出の機会がまだ少ない傾向にある為、より社会参加の機会を設けていきたい。また、活動に保護者様も参加して頂けるような仕組みを強化したい。
2	地域の中で初の医療的ケア児対応の放課後等デイサービス	常時看護師の配置。峡北地域(韮崎市・北杜市)の中で医療的ケア児の受け入れ箇所がゼロであった中、設立。計画相談員・教育機関・医療機関・行政に情報提供しながら、各ご家庭のニーズをキャッチし、医療的ケア児他、発達・知的のお子様方も含め積極的な受け入れを行っている。	・事業所のPRの強化(SNS等の活用など) ・峡北地区(韮崎市・北杜市)に児童支援連絡会の参加 ・山梨県社会福祉協議会プラットホーム参加(地域連携)
3	対象地域3市とし、幅広い地域対象の中での運営・送迎の実施	ご家族のニーズに沿えるよう、対象地域3市(韮崎市・北杜市・南アルプス市)への送迎サービスの実施を継続。公用車数の拡大を実施。(令和7年度)	範囲やニーズが広がっていることを受け、送迎ドライバー要員の確保をし充実を図りたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所内外環境の手狭さ	ご利用人数に対し、空間の手狭さを感じる。肢体のお子様方の車いす・バギーの往来があり、通行や活動に支障があることがある。	環境の改善に向けて、不要なものの撤去及び配置換え等日常の中で実施。また拡張等、法人として以後考察していかねばならない。
2	他法人や他事業所の交流・保護者参加型のイベントの開催の少なさ	感染症の兼ね合いで中々交流やイベントが盛んに行えない現状あり。また、職員配置によりご提案や実施が難しい現状もある。	感染症の兼ね合いを見ながら、交流について積極的な促しを行いたい。また、保護者様参加型の企画を強化したい。
3	常駐職員の配置・強化	多機能型事業所(生活介護・放課後等デイサービス)であるが故、職員配置が兼務になっている現状がある。	常駐職員の配置・強化が出来るよう、運営の見直し・利用稼働率の維持・強化を引き続き継続していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 特定非営利活動法人WeAre 放課後等デイサービス MekiMeki

公表日 令和8年4月10日

利用児童数 令和7年度：12

回収数 7家庭

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4	3	0	0	車いすユーザーが多いので、少し狭い気がします。	ご利用人数に対し、利用空間が狭くなってしまうことがあり、車いす等の通行がしにくい状況があります。以後、環境改善について、法人としても検討して参ります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	7	0	0	0		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6	1	0	0		
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7	0	0	0		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6	1	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7	0	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7	0	0	0		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	3	1	2	1		
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6	1	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	4	1	1		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	7	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	3	2	1		
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6	1	0	0		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7	0	0	0	急な連絡ツールが施設長へのLINEや法人への電話連絡のみなので、他に連絡をとれる連絡アプリがあるといいなと思います。	「コドモン」というアプリを導入いたしましたので、情報交換方法の選択肢が増えました。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5	2	0	0	月1または月2でもいいので、新聞みたいなもので日々のことが知れたらなと思います。	年3回程度の新聞の発行を検討しています。コドモンにアップロードする形で公開していきたいと思います。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5	2	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	1	0	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5	1	1	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5	1	1	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	7	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	7	0	0	0	とても楽しんでいると思います。ありがとうございます。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	7	0	0	0		